

## 2023 年度 山形県山岳連盟総会 議事録

日時：令和 5 年 3 月 18 日（土）

場所：大江町中央公民館

13:00～14:52

### 1. 高橋副会長のあいさつで開会

### 2. 大滝会長の挨拶

### 3. 菅野事務局長から本理事会成立状況について

評議員 19 名中、6 名の出席者、12 名の委任状提出があり、規約第 13 条 8 の定数 1/2 以上により本理事会成立の報告があった。

### 4. 議長の選出について

菅野事務局長より規約第 13 条 6 出席評議員からの互選であることを説明後、事務局案として、長井山岳会 鈴木 俊一 評議員の推薦があり承認された。

議長席に就き、議事開始。

### 5. 議事録署名人の選出について

菅野事務局長より 大江山岳会 木村 誠 評議員の推薦があり承認された。

### 6. 報告：

#### 報第 1 号 2022 年度 スポーツクライミング競技に関する経緯について

菅野事務局長による説明

2021 年度から今日までのスポーツクライミング競技に関する対応経緯について報告し了承された。

#### 報第 2 号 加盟団体の退会について

退会団体：岳人長井

規約第 5 条第 8 項により第 2 回常任理事会で承認されたことの報告について了承頂いた。

#### 報第 3 号 団体の新規加盟について

加盟団体：山形スポーツクライミング連絡会

規約第 5 条第 2 項により第 2 回常任理事会で承認されたことの報告について了承頂いた。

※新規加盟団体（会長：工藤秀之氏）からのあいさつ

### 7. 議事：

#### 議第 1 号 2022 年度 事業報告について

菅野事務局長による説明

事業報告・各種行事・役員会議に分けた、県岳連主体事業は少ない、今後内容を精査し記載方法を検討したいとの説明があり、原案のとおり承認された。

#### 議第 2 号 2022 年度 収支決算報告及び監査報告について

高橋会計による説明

2022 年度繰越金 365,034 円の内 300,000 円は海外登山からの寄付金であり実際には

65,034 円の繰越であった、今年度の繰越額は 319,258 円で実質目減りしている。

従来から専門委員会活動費の大半は中央会議の旅費に充てていた、コロナ禍によりオンライン会議により支出が少なかった。

事務費で旅費が予算の倍近くになっているのは、東北六県協が青森県であったことや東北総体（青森県）への役員派遣、岩手県での東北ブロック会議等遠隔地での開催であったことによる。

これまで自己負担によるところが多く、業務執行の適正化を図って来たが一層の節約と改善策が必要となっているとの説明があり、原案のとおり承認された。

議第 3 号 2023 年度 第 24 回県民登山の実施について

高橋副会長による説明

主 管：鶴岡山岳会

日 程：10 月 7 日（土）～8 日（日）

開催地：以東岳（朝日連峰）

主管団体の鶴岡山岳会高橋会長より資料による説明後、原案のとおり承認された。

議第 4 号 令和 5 年度 東北六県連絡協議会の開催について

菅野事務局長による説明

開催日：2023 年 5 月 13 日（土）～14 日（日）

会 場：13 日 山形市南部公民館

14 日 一陽館

宿 泊：黒沢温泉「一陽館」

第 1 回常任理事会で開催会場を蔵王温泉としていたが、会場の変更及びコロナ感染対策等による六県への参加人数の制限、これまでの開催経緯の説明後、原案のとおり承認された。

議第 5 号 2023 年度 組織体制及び組織管理運営について

菅野事務局長による説明

2023 年度から「登山部門」と「スポーツライミング部門」に分けた組織体制とし、常任理事会の充実を図る考えから常任理事には加盟団体の会長（代表者）及び適任と認められる方とすることや、SNS を活用した連絡・会議の推進などの取組みについて提案があり承認された。

議第 6 号 2023 年度 基本方針（案）について

井上理事長による説明

2021 年度からこれまでの課題への取組み経緯を踏まえ、2023 年度から「スポーツライミング部門」と「山岳部門」を分離した新たな組織体制の構築に向けた基本方針案と登山部門におけるこれまでの成果と方向性について説明があり、原案のとおり承認された。

尚、遭難対策関係に記載されている、鳥海山でのココヘリレンタル事業については現在周辺 3 市 1 町で協議中のため、開始済みと受け取られる記載を修正した。

出席者から鳥海山でのスノーモービル乗り入れに関する質問があり、井上理事長から関係する県岳連加盟団体で協議した内容について整理し、登山者の代表として「鳥海山におけるスノーモービルの利用規制」について会議で発表させて頂いたので添付資料を参照いただきたいとの説明があり了解いただく。

議第 7 号 2023 年度 事業計画（案）について

菅野事務局長による説明

2023 年度事業案については、「登山関係」と「スポーツライミング関係」に分けて

記載したこと、未定の事業については前年度を参考に記載しているので随時情報提供したいこと、登山とSCが競合するものは協議とする考えについて説明があり、原案のとおり承認された。

#### 議第8号 2023年度 収支予算（案）について

菅野事務局長による説明

- ・2023年度から会計を「登山部門」と「スポーツクライミング部門」を分け、登山部門（本会計）での海外登山とクライミング部の予算は取らず登山普及の考えで指導員会に統合すること。
- ・これまでの県岳連予算を「本会計」とし、スポーツクライミング関係については「特別会計」として分離するが、2022年度のスポーツクライミングに関しては暫定期間で公認団体が対応してきたことから決算書は資料として添付したこと。
- ・県スポーツ協会年会費は折半により45,000円、JMSCA負担金は団体負担7,000をSC会計から本会計に繰り入れること。
- ・本会計からSC会計へ施設管理費として20,000円を繰出金とすること。
- ・新規団体加盟による入会金分が増え2023年度は総額925,000円の予算とすること。
- ・提案事項を考慮して通信費及び旅費を削減すること。
- ・監査は本会計を対象に行い、県の指導対象は特別会計で対応する考えであることの説明があり、原案のとおり承認された。

尚、令和4年度のスポーツクライミング関係の決算書は資料に添付しているが予算書が無いことについては、今回クライミング団体が正式に加盟することになったので、今後山形県山岳連盟としてスポーツクライミング関係の予算書について掲載することを確認した。

<出席者から>

令和5年度に日本山岳・スポーツクライミング協会から国体県予選会開催への助成金10万の助成金は予算書に反映しないのかとの質問について、令和4年度は県岳連が公認することで山形SC連絡会が国体県予選会を実施している関係で精算資料等は別になっているが、令和5年度から県岳連に加盟することになったので、スポーツクライミング関係費として別に対応していただくことになるのとの説明があり、了解いただいた。

クライミング団体からJMSCA還付金で選手登録料も入っているとのことだが、これについてもスポーツクライミング会計へ入れていただきたいとの意見があり、井上理事長から分配や受領方法等の手続きについてはJMSCAへ確認しなければならないが、スポーツクライミングに関連したものは全てSC会計に入れる考えであることを伝え了解いただいた。

#### 議第9号 2023年度 役員改選（案）について

大滝会長による説明

選考委員会を開催し新年度から「登山」と「スポーツクライミング」を分けた組織体制となるが、まだ不確定要素もあり暫定的な期間となるので、規約改正はせず当面の間円滑な運営が出来るまで現状維持として、経過をみながら実態に合わせた規約改正を検討していくこと、可能な現役員には再任いただくこと、常任理事には加盟団体の会長（代表）としたが、新たなクライミング団体の加盟が正式決定していない状況もあったので、考えられる役職は抜いていること、又、組織体制については会長、理事長は「登山」と「スポーツクライミング」共通の役職として、副会長、事務局は其々に分担する考えであるとの説明があり、山岳文化担当について草刈理事から清野理事に訂正し以下の4項目を確認し、原案のとおり承認された。

- 1) 当面クライミング部でスポーツクライミングを担当する。
- 2) 普及部については高体連の人事異動による変更を考慮する。

- 3) クライミング部関係役員については山形スポーツクライミング連絡会からの推薦をもって承認とする。
- 4) 専門部員については規約により部長の委嘱によることから各部長へ選任を委ねる。

<出席者から>

山形 SC 連絡会より空欄となっているスポーツクライミング部関係役員について検討したいが、副会長についてこれまでのように、伊藤副会長にお願いできるものかとの意見があった。

井上理事長からクライミング部から選任いただきたいこと、JMSCA 加盟団体の役員も兼務している状況が見られるので人材不足の中で兼務もいたしかたないと考えていること、役職名等についてもこれまで JMSCA や県スポへ提出する関係から必要とされる役職を上げているが、基本的には登山関連とスポーツクライミング関連を分け、高体連もあるので3部門になるのかもしれないが、連絡先や業務内容を大分して、登山に関するものとスポーツクライミングに関するものを分け、どちらにも属さないものは理事長判断とする考えなので、スポーツクライミング部門でやり易いような体制をつくっていただければ良いとのことを伝え了解いただいた。

#### 8. その他：

○土門事務局員より 2023 年 4 月 29 日～6 月 25 日酒田市美術館で開催される山岳写真家白簞史朗写真展の案内

#### 9. 鈴木評議員議長席より退席

#### 10. 新役員あいさつ（大滝会長代表あいさつ）

#### 11. 伊藤副会長のあいさつで閉会